

上 県 局 農 水 号 外
令 和 5 年 3 月 8 日

報道機関各位

青森県上北地域県民局地域農林水産部長
(公 印 省 略)

令和4年 家畜伝染病緊急防疫業務に係る青森県農村整備建設協会上北地区
協議会協力業者への感謝状贈呈式について（依頼）

このことについて、令和4年に上北管内で発生した家畜伝染病の緊急防疫業務に御尽力
いただいた協力業者に対して、感謝状を贈呈するため、下記により感謝状贈呈式を執り行
いますので、取材して下さいますようお願いいたします。

記

- 1 日 時 令和5年3月15日（水）11:00～12:00
- 2 会 場 十和田建設会館4階「会議室」
(十和田市西十三番町4-10)
- 3 内 容 令和4年に上北管内で発生した高病原性鳥インフルエンザ（4件）の緊急防
疫業務に従事していただいた協力業者（23社、別添一覧参照）に対して、上北
地域県民局地域農林水産部長から感謝状を贈呈します。
なお、上北管内高病原性鳥インフルエンザ緊急防疫業務の概要は、別添資料
のとおりです。

報道機関用提出資料	
担当部署	上北地域県民局地域農林水産部 水利防災課長 神 大樹
電話番号	(直通) 0176-23-5250
青森県上北地域県民局地域農林水産部 部長 松橋 和久	

(別紙)

令和4年 家畜伝染病緊急防疫業務に係る
青森県農村整備建設協会 上北地区協議会 協力業者への感謝状贈呈式

受贈者一覧

会社名	役職	氏名	所在地	担当地域、幹事社
(株)田中組	代表取締役	田中 俊次	十和田市	A地域、地区協議会長
南部建設(株)	代表取締役	竹ヶ原 實	十和田市	A地域
田中建設(株)	代表取締役社長	田中 大文	十和田市	A地域、2例目幹事社
(株)佐藤建設工業	代表取締役社長	佐藤 陽大	六戸町	B地域、4例目幹事社
石田産業(株)	代表取締役社長	千葉 倫明	七戸町	C地域、1例目幹事社
上北建設(株)	代表取締役社長	田島 一史	十和田市	A地域
田中建設工業(株)	代表取締役社長	田中 進	十和田市	A地域
(株)柏崎組	代表取締役社長	柏崎 尚久	おいらせ町	B地域
(株)工組	代表取締役	中野渡 悟	十和田市	A地域
(株)福萬組	代表取締役社長	井上 馨	十和田市	A地域
(株)三村興業社	代表取締役	小笠原 國男	おいらせ町	B地域
丸井重機建設(株)	代表取締役	丸井 哲人	十和田市	A地域
(株)工藤組	代表取締役	番場 宗幸	七戸町	C地域、3例目幹事社
東和建設(株)	代表取締役	川畑 利光	六ヶ所村	C地域
(株)中綱組	代表取締役	羽賀 義広	十和田市	A地域
田中土木(株)	代表取締役	田中 秀治	七戸町	C地域
手間本建設(株)	代表取締役	手間本 興家	野辺地町	C地域
(株)升澤組	代表取締役	千葉 いづみ	野辺地町	C地域
(株)鳥山土木工業	代表取締役	鳥山 日出昭	六ヶ所村	C地域
東北建設(株)	代表取締役	蛭沢 公洋	東北町	C地域
笹倉建設(株)	代表取締役	本間 正信	東北町	C地域
彦建設(株)	代表取締役	甲地 繁彦	東北町	C地域
紺野建設(株)	代表取締役社長	奥山 勝茂	十和田市	A地域

A地域：十和田市を担当

B地域：三沢市、六戸町、おいらせ町を担当

C地域：野辺地町、七戸町、東北町、横浜町、六ヶ所村を担当

幹事社：県と緊急防疫業務を契約し、協力業者間や各作業の調整、取りまとめを担当

令和4年 上北管内高病原性鳥インフルエンザ緊急防疫業務について

発生事例	1 例目	2 例目	3 例目	4 例目
農場所在地	横浜町	横浜町	横浜町	三沢市
発生日	R4. 4. 8	R4. 4. 15	R4. 11. 20	R4. 12. 15
飼養羽数	肉用鶏 11 万羽	肉用鶏 10.8 万羽	肉用鶏 12.1 万羽	採卵鶏 139 万羽 (国内最大規模)
殺処分期間	4/8～4/11	4/15～4/18	11/20～11/23	12/15～12/29
埋却作業期間	4/8～4/15	4/15～4/19	11/20～11/24	12/15～12/29
防疫措置期間	4/8～4/15	4/15～4/19	11/20～11/24	12/15～12/30
埋却フレコン数	1,316 袋	1,775 袋	1,684 袋	9,164 袋
埋却溝数	2 本 (L=120m)	3 本 (L=150m)	3 本 (L=135m)	19 本 (L=686m)
協力業者数 ^{※1}	10 社 (C 地域 10 社)	20 社 (A 10 社、C 10 社)	10 社 (C 10 社)	13 社 (A 10 社、B 3 社)
派遣人数 ^{※2}	日平均 45 名/延べ 415 名	日平均 40 名/延べ 229 名	日平均 49 名/延べ 256 名	日平均 81 名/延べ 1,480 名
機械台数 ^{※3}	39 台/延べ 213 台	21 台/延べ 107 台	15 台/延べ 86 台	44 台/延べ 925 台
主な作業	〔農場〕 処分鶏フレコンバッグ (以下「FC」) 集積、積込、運搬 飼料・鶏糞 FC 詰め ^{※4} 、集積、積込、運搬 〔埋却地〕 埋却溝造成、埋却作業			〔農場〕 処分鶏 FC 集積、積込、運搬 卵 FC 詰め ^{※4} 、集積、積込、運搬 飼料 FC 詰め ^{※4} 、集積、積込、運搬 〔埋却地〕 埋却溝造成、埋却作業 〔消毒ポイント〕 敷鉄板敷設 ^{※4}

- ※1 協力業者数 上北農村整備建設協会では、管内を3地域に分け、発生市町村に応じて協力業者をあらかじめ設定。また、連続発生や規模に応じて相互の応援体制を整えている。
 A 地域 (十和田市): (株)田中組、南部建設(株)、上北建設(株)、田中建設(株)、田中建設工業(株)、(株)工組、(株)福萬組、丸井重機建設(株)、(株)中綱組、紺野建設(株) (計 10 社)
 B 地域 (三沢市、六戸町、おいらせ町): (株)佐藤建設工業、(株)柏崎組、(株)三村興業社 (計 3 社)
 C 地域 (野辺地町、七戸町、東北町、横浜町、六ヶ所村): 石田産業(株)、(株)工藤組、東和建設(株)、田中土木(株)、手間本建設(株)、(株)升澤組、(株)鳥山土木工業、東北建設(株)、笹倉建設(株)、彦建設(株) (計 10 社)
- ※2 派遣人数 防疫措置期間の日平均派遣人数/防疫措置期間及び撤収作業期間の延べ派遣人数
- ※3 機械台数 農場からの FC 搬出作業、埋却地での埋却作業等に使用した機械 (重機・車両) の台数/期間内に使用した機械 (重機・車両) の延べ台数
- ※4 上北農村整備建設協会からの提案を受け依頼した作業 青森県と青森県農村整備建設協会が締結する「家畜伝染病の発生時における緊急防疫業務に関する協定 (R 元. 12. 13 締結)」に含まれない作業であるが、上北農村整備建設協会から、防疫作業全体の作業進捗状況を踏まえた上で、土木技術・ノウハウに基づいた提案があり作業を実施していただいた。このことにより、防疫作業の効率化や大幅な時間短縮が図られた。

青森県農村整備建設協会上北地区協議会（上北農村整備建設協会）による緊急防疫業務の紹介（横浜町 上北管内1～3例目）



写真1 複数台の重機投入による埋却作業の時間短縮（1例目）

1例目は、埋却溝からの湧水で作業に苦慮したが、短時間に大量の土砂で覆土することにより、湧水の影響を最小限に抑え作業を終えることができた。

写真2 「大型土のう製作器」活用で鶏糞FC詰作業（1～3例目）

殺処分終了後、動員県職員と農場重機による鶏糞のFC詰め作業を予定していたが、上北農村整備建設協会から「大型土のう製作器」による作業提案を受け、安全に短期間で作業を終えることができた。

写真3 埋却と覆土の並行実施により防疫作業の早期終了（1～3例目）

高病原性鳥インフルエンザまん延防止及び周辺農場の早期制限解除には、防疫作業の早期終了が望まれるが、安全を確保した上で埋却と覆土を並行作業で行ったことで、防疫期間の短縮を図った。

青森県農村整備建設協会上北地区協議会（上北農村整備建設協会）による緊急防疫業務の紹介（三沢市 上北管内4例目）



写真4 国内最大規模の防疫業務体制の早期立上げ（4例目）

B地域初の発生となったが、悪天候の中、作業経験のあるA、C地域の業者から助言を受け、農場・埋却地の作業体制を早期に構築、国内最大規模に対応した搬出、埋却能力を確保し作業に当たった。

写真5 鶏卵FC詰め作業への協力（4例目）

本県初の採卵鶏農場での発生で、大量の鶏卵処理（FC詰め、埋却）に時間を要する懸念があったが、上北農村整備建設協会からの作業員派遣及び埋却技術提案により短期間で作業が終了した。

写真6 農場内サイロの飼料処理作業への協力（4例目）

飼料は、殺処分終了後、動員県職員により処理予定であったが、上北農村整備建設協会からの作業員派遣提案により、殺処分終了前に作業が完了し、防疫措置期間の長期化が避けられた。

